

インターネットを利用した情報保障技術

平山 亮†

†大阪工業大学

〒573-0196 大阪府枚方市北山 1-79-1

E-mail: † makoto.hirayama@oit.ac.jp

Guaranteeing Information Accessibility for Disabled Participants With Communication Support Technologies using the Internet

Makoto. J .HIRAYAMA ‡

† Faculty of Information SCIENCE and Technology, Osaka Institute of Technology

1-79-1 Kitayama, Hirakata, Osaka, 573-0196 Japan

E-mail: † makoto.hirayama@oit.ac.jp

キーワード 情報保障, インターネット, 聴覚障害者, 視覚障害者, 福祉情報技術

Keyword Information accesibility support, the Internet, visually impaired persons, hering impaired persons, welfare information technology

講演要旨

視覚障害者または聴覚障害者が、学会での発表及び聴講する場合、また、大学等での講義受講をする場合、あるいは、講演会や会議などに参加する場合、視覚または聴覚に障害を補う情報保障がされなければ、講演内容を理解するのは困難である。また意思疎通に関する適切な援助が提供されなければ、質疑応答、議論が、活発に行えない。これらの障害者が、不利益を得ずに講演会等に参加できるよう、情報保障を行う体制を整えていく必要がある。画像電子学会の視覚・聴覚支援システム研究会では、これらの障害の当事者も参加して視覚・聴覚支援技術について研究会を行ってきた。予稿原稿のテキストファイル配布、要約筆記、手話通訳などを利用し、視覚障害者・聴覚障害者も晴眼者・健聴者と同等に発表し、議論をすることができた。しかし、学会に対応できる要約筆記者、手話通訳者の手配、予算の捻出などで課題もある。近年は、IoTを含めインターネット技術の進展、認識・合成技術の進展などにより、ソフトウェアやインターネットを利用することにより、低コストかつ必要十分な品質で情報保障をできる可能性がでてきている。本講演では、過去の視覚・聴覚支援システム研究会での事例紹介、インターネットを利用した情報保障技術の紹介などを行い、これからの情報保障について参加者を交えて考える機会とする。

- 学会における情報保障
- 障害者権利条約、障害者差別解消法
- 視覚障害者のための情報保障技術、聴覚障害者のための情報技術
- インターネット及びソフトウェアを援用した情報保障の可能性
 - 遠隔要約筆記／遠隔手話通訳
 - 音声認識
 - 字幕付け
 - 音声ガイド
 - 手話アニメーション
 - HTML、DAISY 等、テキストコンテンツ情報の構造化
- 学会における情報保障についてフリーディスカッション